

平成 29 年度 第 8 回理事会

場 所：富山市民病院

日 時：平成 30 年 1 月 15 日（月）19:00～

参加者：田村、松岡、島津、作田、橋爪、高林、齋藤、桐山。古澤、小倉、藤井（財務）

<報告事項>

1. 北日本新聞社より「とやま健康・福祉・介護フェア 2018」ー3月 18 日テクノホール西館への出展案内あり。
2. 1 月 10 日リハビリテーション専門職協議会一士会員の地域ケア、介護予防事業への参加状況把握のアンケート 2 月実施予定。リハ職派遣登録会員の更新。
富山県より「介護予防のための個別会議助言者」として、リハビリ専門職の推薦依頼。
⇒理学療法士会・堀尾氏、作業療法士会・齋藤氏、言語聴覚士会・市橋氏を推薦。
1 月 12 日「介護予防のための地域包括ケアシステムに係わる人材育成研修会」（県主催で市町村担当者への研修会）に、橋爪理事、齋藤理事がアドバイザーとして参加。他、理学療法士会、言語聴覚士会より 2 名ずつ参加。
3. 1 月 20 日「地域包括ケアシステムに係わる人材育成研修会」に事前 85 名の申し込みあり。
4. 3 月 4 日 日本作業療法士協会主催 診療報酬改定に関する研修会ー同時改定であり、3 領域（身障・佐々木氏、精神・衣笠氏、介護・折江氏）から出席する。

<検討事項>

1. 交通費の計算ー出発地点を所属施設としていたが、休日など、自宅から会場に出る場合もあり、実際の出発点からで計算する。
2. 介護保険関連の加算のアンケートの集計報告書ー訪問リハビリのなかに、訪問看護として出ている所も含まれ、この場合、リハマネⅡなどの対象とならない。訪問看護として療法士が出ているものは除き、再度集計を行う。報告書には結果に対する所見を入れる。
3. 各部会・委員会からの予算案の確認
個別の指摘事項については、追って事務局長より各担当者に連絡。

<共通事項>

- ・福利厚生費は現金支給で行わない。また、予算請求する場合は、部員の登録数ではなく、実働人数で計上する。
- ・雑費とは、振り込み手数料などであり大きな金額とはならない。消耗品などをいれて 5,000 円計上している場合があり、雑費の定義を周知する。
- ・研修会費については、マイナス決算にならないよう参加費や会場費等に配慮が必要。

・部会運営の会議費は年2回まで予算請求の対象。研修会運営等に伴う会議は別。

4. 理事退任に伴う担当委員長や担当理事の交代

訪問リハ推進委員会：担当理事を齋藤氏 障害老人部会：担当理事を大谷内氏

財務：担当理事を島津氏 その他は次回検討